

## 編集後記

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行されました。移行前の春休み頃から人の動きが活発化し始めて、GWではコロナ禍前以上の人出が観察されています。ついにウィズコロナ時代がやってきました。

「小児保健研究」第82巻第4号では、吉川徹先生の総説「子どもの心と性—子どもの「性」を育てる—」、羽澄 恵先生の視点「児童・思春期の睡眠の指導」を初めとした8編の論文と3編の素晴らしい投稿論文を掲載させて頂いております。昨年6月に開催された第69回日本小児保健協会学術集会からは、シンポジウム1「COVID-19感染症後の今後の小児保健体制」を座長のお一人である山下裕史朗先生に、また、シンポジウム7「新型コロナウイルス感染症の小児保健への影響」を座長の谷口清州先生にまとめて頂き、いずれも1年を経過してはいますが、まさに時宜を得た掲載となりました。

私の専門領域である肥満でも、欧米を中心としてコロナ禍での肥満児の増加が報告されています。休校やon line授業などによる運動量の減少、室内で長時間過ごすための食事内容・食習慣の変化、また、それに便乗した感のある不健康な食品業界の市場適応、精神的ストレスなどがその原因と考えられますが、では、5類になったからと言って、それらが一気に解決するものでしょうか？今こそ、子どもたちの将来の健康のためにも、健康的な食物や教育の提供、不健康な食品が手に入りにくい環境づくり、運動量増加のための健康的な不便の創造などの環境整備が必要ではないでしょうか。

私たち日本小児保健協会員が、先頭に立つ時であろうと思います。

(久保 俊英)

### 編集業務に関するお知らせ

「小児保健研究」等の原稿の投稿や編集に関するお問い合わせは下記にお願いします。  
〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10 株式会社杏林舎内 「小児保健研究」編集部  
TEL：03-3910-4311 FAX：03-3949-0230 E-Mail：jsch\_edit@kyorin.co.jp

公益社団法人日本小児保健協会 日本小児保健協会ホームページアドレス <http://www.jschild.or.jp/>  
E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp  
小児保健研究 第82巻 第4号

発行所 公益社団法人日本小児保健協会  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12-1  
トナカイ神田タワー 9階  
TEL：03(3868)3093 FAX：03(3868)3092

2023年7月31日 発行  
発行人 小枝 達也  
編集代表 堀口 寿広  
編集業務 株式会社杏林舎